

科目ナンバリング		U-LAS25 20001 SJ48							
授業科目名 <英訳>	イタリア語II A I2101 Italian IIA			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 霜田 洋祐				
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	木3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
この授業では、イタリア語Iで学習した文法に加え、いくつかの新しい文法事項を確認したあと、リーディング用の教科書を用いてイタリア語の平易な文章の講読を行う。文法の理解を基礎に、イタリア語の文章を自ら読み進められる読解力を身につけるとともに、テキストで説明されるイタリア文化について理解を深めるのが目的である。									
[到達目標]									
イタリア語の直説法の動詞の活用の定着、比較級や受動態、非人称などの文法事項の習得をもとに、平易な文章を自ら読み進められるようになる。イタリア語とイタリア文化について理解を深める。									
[授業計画と内容]									
学期前半はイタリア語Iで使用した教科書、講読用教科書の解説、および補助プリントを用いて文法事項を学ぶ。 後半は講読用教科書の中盤の文章を練習問題を解きつつ読んでゆく。2回で1課ほどのペースで進む予定である。									
第1回 初級の文法の復習(1) 第2回 復習(2) / 比較級・最上級 第3回 受動態 / 非人称のsi 第4回 受け身のsi / 関係詞 第5回 遠過去 / ジェルンディオ 第6回 確認テスト、ここまでのまとめ 第7-14回 教科書テキストの読解 《期末試験》 第15回 フィードバック									
以上の予定で進めて行くが、授業参加者の理解度に応じて進度が多少変わる場合もある。									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
平常点50% (参加姿勢、小テスト、テキストの解釈等による。詳しくは初回授業で説明する)、試験50% (中間確認テストと期末試験の割合は授業内で説明する) として総合的に評価する。									
----- イタリア語II A I2101(2)へ続く -----									

イタリア語II A I2101(2)

[教科書]

一ノ瀬俊和 監修、ナンニーニ・アルダ、古田耕史 著 『文で味わうイタリア - たのしいイタリア語読み書き入門 - 』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-55309-2

イタリア語Iの教科書も引き続き使用する。

プリントも配布する。

[授業外学修（予習・復習）等]

学期前半の文法説明では、授業内で指示された例文を読み、練習問題を解いてくること。小テストに備えて活用等の文法事項を覚えること。後半の講読では次回進む範囲の予習をしてくること。単語・文章の意味を把握するだけでなく、声に出して文章を読む練習を必ずしてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは金曜2限です（事前に連絡してもらえると確実です）。気軽に相談に来てください。

ただ、授業内容に関する質問はなるべく授業中に受けたいと思います。遠慮なく積極的に質問してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]